

笑顔で会える学校

豊能町立吉川中学校 学校だより



令和3年4月14日

本日、離任式を行いました。 お世話になった皆さん、ありがとうございました。

本日、離任式を行いました。お忙しい中にも関わらず、この4月に本校を去られた先生方にお越しいただきました。お世話になった先生方の話だったので、真剣に聞く生徒たちの姿がとても印象的でした。出会いもあれば別れもあるこの4月。吉川中学校を去られた方々が新しいステージで活躍されることを祈りつつも、少し寂しく切ない気持ちになりました。

お世話になった教職員のみなさん

| | | | |
|--|--|--|--|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

この春に吉川中学校に来られた教職員のみなさん

| | | | |
|--|--|--|--|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

ワクワクしたクラブ・委員会紹介

4月9日（金）にはクラブ・委員会紹介がありました。特にクラブについては、生徒数の減少に伴い、どのクラブも部員数が減少しており、存続の危機に立たされているクラブもある中、各クラブは部員確保に向けて、たいへん気持ちのこもった紹介を行いました。どのクラブも限られた時間の中で工夫を凝らした発表で、1年生もワクワクしながら見ていました。そして昨日（13日）から仮入部が始まり、新1年生にとっては、中学校に進学して最も楽しみな活動が始まりました。



笑顔で会える学校をめざし、 「自律」と「思いやり」を意識して！

入学式や始業式で話をし、前号のこの通信でも書きました「笑顔で会える学校」。毎朝校門に立っていても、「おはようございます」の元気な声とともに、笑顔で登校してくる生徒のみなさんに元気をもらっています。この「笑顔」が学校中に広がり笑顔いっぱいの学校にしていきたいと思います。

そのために、中学生のみなさんには、「自律」と「思いやり」を意識してほしいと考えています。始業式の日には時間がなくて、その言葉の意味までは深く話をすることができなかつたので、今号と次号で少し説明したいと思います。今号では、まずわかりやすい「思いやり」について、今のコロナ対応に絡めて書きたいと思います。



「思いやり」を大切に！

今、世界中が新型コロナウイルスの対応で大変な状況だからこそ、私たち人間が一番大切にしなければならないこと、それが「思いやり」だと思います。

生徒のみなさんの中にも、いろいろな人がいます。もともと風邪などひきやすい人もいます。普段から健康面で気を使いながら生活をしている人もいます。そんな人たちは、この新型コロナウイルスに対する抵抗力も弱いでしょうし、感染すると大変なことになる可能性があります。この病気が一番怖いところは、知らぬ間に人にうつしてしまう可能性があるということです。感染を広げないようにするために、みなさんそれぞれが、しっかり手洗いをしたり、マスクをしたり、大きな声を控えたりするなど、今行っている感染対策は、すべて「思いやり」につながる行為です。そして、何より命を守るためのものであり、自分自身の命も大切にすることも「思いやり」につながる行為です。

この先、身近な人や友達の中でも感染する人が出てくるかもしれません。こんな時だからこそ、「思いやり」が大切なのです。もし感染が身近で起こったなら、その感染した人が、少しでも治療に専念できて、心穏やかに回復できるように、周りの人の温かいかわり、温かい目が必要だと思います。

私たちができること。それは「思いやり」を大切に、まずは感染を広げないように、みなさんそれぞれが体調管理に気をつけ、手洗いなどできる努力をしていくことです。そして、感染をただ恐れるのではなく、感染が起こればとも認識し、身近で感染が起これば慌てることなく、そんなときこそ「思いやり」ある行動、態度を心掛けてほしいと思います。

コロナ対応を例に出し、「思いやり」について書きましたが、みんなが「思いやり」を意識するだけで、今以上に安心できて、居心地のよい学校になっていくはずですよ。「思いやり」を大切に、常に意識して行動してくれることを期待します。

